

## 「みなとみらい21新港地区都市景観協議地区「中区新港二丁目11番4における特定都市景観形成行為」について」

## 【計画地の特性と建築概要】

- ・ 計画地 : 中区新港二丁目11番4
- ・ 地域地区等 : 商業地域 第7種高度地区 みなとみらい21新港地区地区計画 景観計画 (みなとみらい21新港地区)
- ・ 敷地特性 : 敷地は、南側は臨港幹線に接し国際橋・新港橋軸のシーケンス景観を形成し、北側は賑わいをつなぐ回遊路に接し対岸や海からの眺望に配慮が必要な位置にある。このため、魅力ある街並みの形成が必要な敷地である。
- ・ 用途 : 集会場
- ・ 敷地面積 : 4,000.00㎡
- ・ 高さ(階数) : 30.9m (地下0、地上6階)
- ・ 床面積の合計 : 7946.74㎡

## 【計画趣旨概要と横浜市の協議の方針(案)】

## 計画趣旨説明

配慮すべき「行為指針」		都市景観の形成に関する申出者の考え方	横浜市の協議の方針(案)
1 建物高さに関する事項 (ガイドライン P20)			
①	(B地区)建築物の高さが20mを超える場合、赤レンガ倉庫や海への眺望を阻害しないよう形態意匠を工夫する。	・赤レンガ倉庫への眺望を阻害しないように、港湾3号線道路境界線から3mセットバックした位置に建物を配置する。高層となる部分は一部とし、海への眺望を阻害しないようにする。 又、パサージュによる視界の抜けにより、赤レンガ倉庫や海への眺望に配慮した計画とする。 それぞれ、 ワールドポーターズ 31m JICA横浜 31m アゲイジャパン販売 20m(予定) カップヌードルミュージアム 26m	申出者の考え方とおおり 「赤レンガ倉庫への眺望を阻害しないように、港湾3号線道路境界線から3mセットバックした位置に建物を配置する。高層となる部分は一部とし、海への眺望を阻害しないようにする。 又、パサージュによる視界の抜けにより、赤レンガ倉庫や海への眺望に配慮した計画とする。」 としてください。
2 見通し景観の確保に関する事項 (ガイドライン P22)			
①	「視点場6」から赤レンガ倉庫への眺望を確保する見通し景観を形成する。	高層となる建築物を本敷地西側とし敷地境界から建物をセットバックすることにより、「視点場6」からの赤レンガ倉庫への眺望を損ねないよう考慮する。	申出者の考え方とおおり 「高層となる建築物を本敷地西側とし敷地境界から建物をセットバックすることにより、「視点場6」からの赤レンガ倉庫への眺望を損ねないよう考慮する。」としてください。
4 街並み形成に関する事項 (ガイドライン P27)			
②	道路などに接する部分に設置する垣又はさくは、開放感のある形態意匠とする。	垣やさくは設けない。植栽計画により、開放性(快適空間)にぎわい回遊路を創出する。出入口に関しては、管理上必要最小限な、透過性が高く、落ち着いた色彩の門扉を設け、街並み景観に配慮した風格ある形態意匠とする。	申出者の考え方とおおり 「垣やさくは設けない。植栽計画により、開放性(快適空間)にぎわい回遊路を創出する。出入口に関しては、管理上必要最小限な、透過性が高く、落ち着いた色彩の門扉を設け、街並み景観に配慮した風格ある形態意匠とする。」としてください。
③	植栽は、街路樹や緑地などと調和のとれた樹種とする。	新港パーク側の植栽は、新港パーク既存樹木(クロマツ)並びに歩道街路樹(ユリノキ)と形状が調和のとれる樹種とする。 又、敷地内の中庭に関しても水と緑をテーマとした計画を行う。臨港幹線側	臨港幹線側の植栽は、街路樹と調和のとれた樹種としてください。 新港パーク側の植栽は、申出者の考え方とおおり 「新港パーク側の植栽は、新港パーク既存樹木(クロマツ)並びに歩道街路樹(ユリ

		の植栽計画も新港パーク側との調和の取れる植栽を行う。	ノキ)と形状が調和のとれる樹種とする。又、敷地内の中庭に関しても水と緑をテーマとした計画を行う。」としてください。
④	建築物の道路に面する低層部には、店舗や市民が利用できる空間など、街に活気を生みだすための空間を配置する。	新港パーク側にレストランを設置、臨港幹線道路側にスイーツ・カフェを設置する。建物をセットバックし、ガーデンテラスや催事等のワゴンショップにより、活気ある空間を創出する。 なお、駐車場棟壁には緑化をあしらえる。歩道には、接する私道部分にベンチ等を配置し、セミパブリック空間の確保を行い、人を呼び込む設えを強化する。	セミパブリック空間の外構計画について、新港パーク側の空地の部分は歩道状の設えとするなど、更に歩行者空間の賑わいの創出に寄与する計画としてください。 その他は、申出者の考え方のおり「新港パーク側にレストランを設置、臨港幹線道路側にスイーツ・カフェを設置する。建物をセットバックし、ガーデンテラスや催事等のワゴンショップにより、活気ある空間を創出する。 なお、駐車場棟壁には緑化をあしらえる。歩道には、接する私道部分にベンチ等を配置し、セミパブリック空間の確保を行い、人を呼び込む設えを強化する。」としてください。
⑤	街に活気を生みだすための空間の外壁は、ショーウィンドウ等の大型の開口部を設けるなど、歩行者空間から賑わいをうかがえる形態意匠とする。	臨港幹線道路側にスイーツ・カフェを設け、水景を中心に活気ある開かれたエリアを設ける。壁はサッシで開放され、にぎわいが感じられる。 新港パーク側レストランも壁はサッシで開放され、植栽を低木とすることにより、レストランの中が見え、にぎわいが感じられる。	申出者の考え方のおり 「臨港幹線道路側にスイーツ・カフェを設け、水景を中心に活気ある開かれたエリアを設ける。壁はサッシで開放され、にぎわいが感じられる。 新港パーク側レストランも壁はサッシで開放され、植栽を低木とすることにより、レストランの中が見え、にぎわいが感じられる。」としてください。
⑦	壁面の緑化などにより、街に彩りを与える工夫を行う。	壁面緑化、花壇、中庭、水盤等を設け彩りを演出する。	申出者の考え方のおり 「壁面緑化、花壇、中庭、水盤等を設け彩りを演出する。」としてください。
5 建物等のデザインに関する事項 (ガイドライン P31)			
①	建築物は、街並みにおける建築物の圧迫感を低減するため、板状を避け分節化などの工夫を行う。	高層となる部分を一部とし、圧迫感を軽減する、又、建物の上層部と下層部、左右で意匠を変化させる事により、長大壁面になる事無く、分節化の工夫をする。	申出者の考え方のおり 「高層となる部分を一部とし、圧迫感を軽減する、又、建物の上層部と下層部、左右で意匠を変化させる事により、長大壁面になる事無く、分節化の工夫をする。」としてください。
③	建築物は、歴史やみなとらしさを演出する個性と風格のある形態意匠とする。 ア 新港地区全体としてまとまりのある景観を創出するため、歴史的シンボル施設である「赤レンガ倉庫」に象徴される歴史的資源と調和する形態意匠とする。 イ “島”としての立地を活かし、海や対岸からの眺望に配慮した形態意匠とする。 ウ ガラス面への張り紙の設置は避け、風格のある形態意匠とする。 エ 新港地区の入口に位置する建築物は、“島”の玄関が感じられる形態意匠とする。 オ 奇抜なものを避け、風格のある形態意匠とする。	ア 赤レンガ倉庫がいつまでもこの地区の象徴であり続けるべく、低層部をレンガ色を中心とし、上層部はトーンを上げた色調とし、調和のとれたデザインとする。 「温故知新」「オリエンタル」をキーワードに、西洋と東洋、伝統とモダンを交錯させ、歴史への憧憬を考慮したデザインとする。 イ 高層部をジャイカ横浜(31m)に合わせ、臨港幹線側の低層部の壁面ラインを隣接のアウディジャパン販売の高さと揃えることにより、スカイラインの連続性を考慮する。色彩に於いても、赤レンガ倉庫・隣地との連続性を保持する。又、「島」としてのまとまりと、独自性を持った街並みとする。 ウ ガラス面の張り紙設置は行わないものとする。 エ 臨港幹線道路沿いは、隣接施設との連続性を考慮する事と共に、海側への視線、通り抜けを実現させる事で、にぎわいのあるシークエンス景観を創出する。 オ 結婚式場という場でもあり、愛着・格式ある意匠とする。シックでモダンな、落ち着いたある、いつまでも色あせない形態とする。	申出者の考え方のおり 「ア 赤レンガ倉庫がいつまでもこの地区の象徴であり続けるべく、低層部をレンガ色を中心とし、上層部はトーンを上げた色調とし、調和のとれたデザインとする。」 「イ 高層部をジャイカ横浜(31m)に合わせ、臨港幹線側の低層部の壁面ラインを隣接のアウディジャパン販売の高さと揃えることにより、スカイラインの連続性を考慮する。色彩に於いても、赤レンガ倉庫・隣地との連続性を保持する。又、「島」としてのまとまりと、独自性を持った街並みとする。」 「ウ ガラス面の張り紙設置は行わないものとする。」 「オ 結婚式場という場でもあり、愛着・格式ある意匠とする。シックでモダンな、落ち着いたある、いつまでも色あせない形態とする。」としてください。 (エ については協議事項なし)
④	建築物は、対岸から赤レンガ倉庫への眺望を意識した配置及び高さとする。	新港パーク側、臨港幹線道路側共に建物を敷地からセットバックさせると共に、建物高層部を西側のアウディジャパン販売側に寄せ、シークエンス景観の眺望に配慮した計画とする。	申出者の考え方のおり 「新港パーク側、臨港幹線道路側共に建物を敷地からセットバックさせると共に、建物高層部を西側のアウディジャパン販売側に寄せ、シークエンス景観の眺望に配慮した計画とする。」としてください。

⑤	建築物の頭頂部は、引き締まった風格が感じられ、周辺の街並みと調和するよう工夫する。	上層部上部、下層階上部共、モールディングの形態意匠とする事により、引き締まった、風格ある形状とし街並みに調和させる。	申出者の考え方とおおり 「上層部上部、下層階上部共、モールディングの形態意匠とする事により、引き締まった、風格ある形状とし街並みに調和させる。」としてください。
⑥	建築物の外壁は、歴史性を表現するレンガや石材又はこれらの質感を持つ素材と、水際に対して開放性を高めるガラスを組み合わせた形態意匠とする。	色に関してはレンガ色でトーンを合わせる。但し、レンガ色で重くなりがち故、透けた感じのルーバーで圧迫感を配慮する。 又、壁面緑化で、木と緑の自然な感じを取り入れる。海側の上層階は開放感ある大型サッシとし、海からの景観に圧迫感を与えぬよう考慮する。	上層階の外壁の素材は、石材の質感を持つ素材としてください。 その他は、申出者の考え方とおおり「色に関してはレンガ色でトーンを合わせる。但し、レンガ色で重くなりがち故、透けた感じのルーバーで圧迫感を配慮する。 又、壁面緑化で、木と緑の自然な感じを取り入れる。海側の上層階は開放感ある大型サッシとし、海からの景観に圧迫感を与えぬよう考慮する。」としてください。
6 色彩に関する事項 (ガイドライン P34)			
①	建築物の外壁及び工作物の色彩は、推奨色とすることにより、新港地区としてまとまりのある街並みをつくる。	推奨色の色彩とし、建物高層部は 10YR の 8/3 色の石貼り仕様の吹付塗装とし、低層部は 5YR の 5/3 色のポータータイル仕上げとする。駐車場棟は、10R の 4/6 色の横ルーバー木目調仕上げとする。	申出者の考え方とおおり 「推奨色の色彩とし、建物高層部は 10YR の 8/3 色の石貼り仕様の吹付塗装とし、低層部は 5YR の 5/3 色のポータータイル仕上げとする。駐車場棟は、10R の 4/6 色の横ルーバー木目調仕上げとする。」としてください。
7 屋外広告物に関する事項 (ガイドライン P37)			
①	建築物又は工作物の中層部又は高層部に設置又は表示する屋外広告物は、落ち着いた中景及び遠景を創出する	建築物の高層部・中層部に於いては、施設名称、広告物等の設置は行わない。	申出者の考え方とおおり 「建築物の高層部・中層部に於いては、施設名称、広告物等の設置は行わない。」としてください。
②	建築物又は工作物の低層部に設置又は表示する屋外広告物は、賑わいに効果的なデザインや色彩等を工夫し、質の高い広告景観を創出する。	低層部に設置するサインは施設名称及び駐車場誘導サイン等、アイレベルでの計画とし且つシンプルで気品の有るデザインとして計画する。夜間の景観にも考慮し夜間は内照式サイン計画とする。別紙資料参照	具体的な規格が決まった段階で別途協議をしてください。 考え方は、申出者の考え方とおおり「低層部に設置するサインは施設名称及び駐車場誘導サイン等、アイレベルでの計画とし且つシンプルで気品の有るデザインとして計画する。夜間の景観にも考慮し夜間は内照式サイン計画とする。」としてください。
8 屋根・屋上に関する事項 (ガイドライン P42)			
①	建築物は、屋上緑化や屋根形状の工夫により、周辺地区からの見下ろしに対し、風格を感じられる見下ろし景観を創出する	建物屋上に設置する設備スペースは周囲から容易には見えないよう意匠フェンスで囲う設えとする。また、周囲を囲い、景観を阻害しないように配慮する。	申出者の考え方とおおり 「建物屋上に設置する設備スペースは周囲から容易には見えないよう意匠フェンスで囲う設えとする。また、周囲を囲い、景観を阻害しないように配慮する。」としてください。
9 駐車場・駐輪施設に関する事項 (ガイドライン P43)			
①	建築物の内部に取り込むなど、街並みの連続性を阻害しないようにし、やむを得ず建築物の外側に設置する場合は、周辺から駐車車両が見えないよう、駐車場又は駐輪施設の外周及び施設内に植栽を配置する等の工夫を行う。	臨港幹線道路側は、建物のデザインを連続させ、車輦が見えない設えとする。新港パーク側は 35m 強セットバックさせ、海からの眺望の確保且つ、壁面に緑化をあしらう。 建物全体に加え、駐車場にもユニバーサルデザインを取り入れ、すべての来客者が安心して利用できるよう配慮する。	申出者の考え方とおおり 「臨港幹線道路側は、建物のデザインを連続させ、車輦が見えない設えとする。新港パーク側は 35m 強セットバックさせ、海からの眺望の確保且つ、壁面に緑化をあしらう。 建物全体に加え、駐車場にもユニバーサルデザインを取り入れ、すべての来客者が安心して利用できるよう配慮する。」としてください。
②	建築物の内部に設置するものは、壁、ルーバーや植栽等の設置により街並みの連続性を阻害しない形態意匠とする。	臨港幹線道路側は、壁に木目調のルーバーを施し、車輦が見えない設えとする。新港パーク側は壁面に緑化をあしらひ、街並みの連続性を創出する。	申出者の考え方とおおり 「臨港幹線道路側は、壁に木目調のルーバーを施し、車輦が見えない設えとする。新港パーク側は壁面に緑化をあしらひ、街並みの連続性を創出する。」としてください。
③	出入口は、歩行者の安全性を確保しつつ、植栽等の設置により街並みの連続性を阻害しないしつらえとする。	進入の際、関連業者の搬入導線、客車輦導線、歩行者の導線、すべての出入口を分けて、安全性を確保させる。駐車場入口には、両脇に緑地帯を設け、歩行者導線の連続性を阻害しないようにする。	申出者の考え方とおおり 「進入の際、関連業者の搬入導線、客車輦導線、歩行者の導線、すべての出入口を分けて、安全性を確保させる。駐車場入口には、両脇に緑地帯を設け、歩行者導線の連続性を阻害しないようにする。」としてください。
②	駐車場への主要な出入口は、新港 3 号線又は臨港幹線に面する	臨港幹線道路側からの車輦進入は無く、すべての車輦は港湾 3 号線からの出	申出者の考え方とおおり

	位置への設置を避け、街並みの連続性を阻害しないものとする。	入りとし、街並みの連続性を阻害しないようにする。	「臨港幹線道路側からの車輛進入は無く、すべての車輛は港湾3号線からの出入りとし、街並みの連続性を阻害しないようにする。」としてください。
10 夜間景観の演出に関する事項 (ガイドライン P44)			
①	建築物の低層部の壁面や敷地内の歩行者空間に設置する照明は、夜間の安全性と賑わいをつくるため、道路照明と調和のとれたものとする。	赤レンガ倉庫のライトアップと調和を図り、外壁を床面よりライトアップする。外構にも照明を設置し、夜間の安全性とにぎわいの演出を計る。	具体的な照明方法について明確にした上で、外構の照明について、道路照明と調和のとれたものとしてください。
②	魅力ある街路空間を演出するため、建築物内部の照明が外部に漏れるようしつらえの工夫を行う。	1階部分のショップをガラス張りとし、建物内部より照明が外部に漏れるような魅力ある設えとする。	申出者の考え方のおり 「1階部分のショップをガラス張りとし、建物内部より照明が外部に漏れるような魅力ある設えとする。」としてください。
③	夜間景観を演出する照明は、温かみのある色温度3,000ケルビン程度の光源を用いる。	ライトアップする照明の色温度は、温かみのある3,000ケルビン程度の光源とする。	申出者の考え方のおり 「ライトアップする照明の色温度は、温かみのある3,000ケルビン程度の光源とする。」としてください。
⑤	夜間の魅力あるスカイラインを創出し、遠景における街の象徴性を表現するため、建築物の頭頂部に照明の演出を行う。	建物頭頂部もライトアップを行い、夜間でも建物全体のスケールを浮かび上がらせる演出とする。	申出者の考え方のおり 「建物頭頂部もライトアップを行い、夜間でも建物全体のスケールを浮かび上がらせる演出とする。」としてください。

みなとみらい21 新港地区 11-2 街区 (仮称) THE GRAND ORIENTAL

2011.12.5

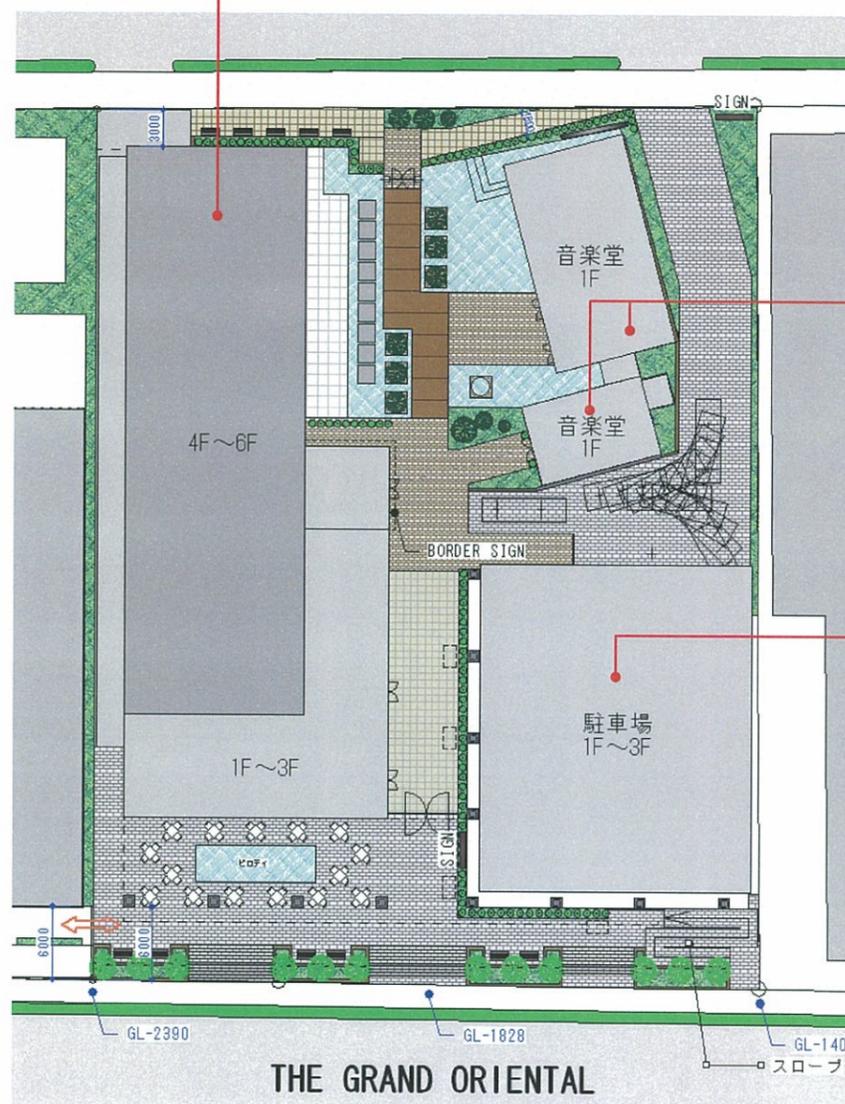
株式会社 ブライダルプロデュース

■全体

敷地面積	: 4,000.00m <sup>2</sup> (1210.00T)
建築総面積	: 2,426.12m <sup>2</sup> (733.90T)
建ぺい率	: 60.65% ≤ 80%
総延べ面積	: 7,946.74m <sup>2</sup> (240.38T)
容積率	: 198.86% ≤ 400%
建築高さ	: 30.9m(3階まで15m)
駐車台数	: 一般45台 身障者用2台 計47台
荷捌き駐車場	: 2台

■本棟

建築面積	: 1,420.29m <sup>2</sup> ( 429.63T)
延べ面積	: 5,239.91m <sup>2</sup> (1,585.07T)
建築高さ	: 30.9m(3階まで15m)
階数	: 6階



■音楽堂

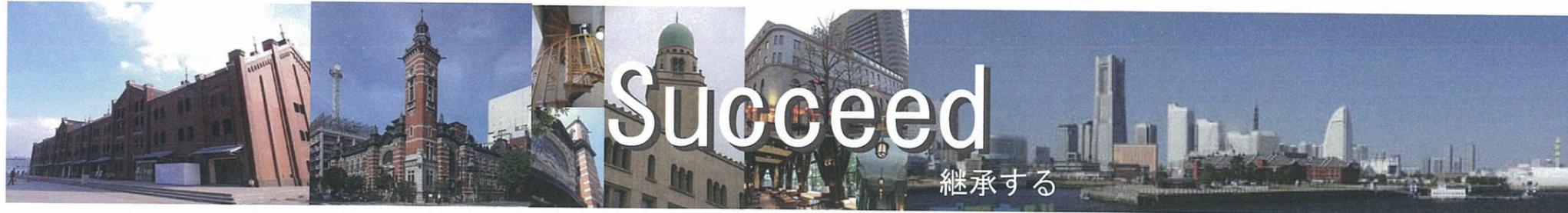
建築面積	: 325.43m <sup>2</sup> (98.44T)
延べ面積	: 325.43m <sup>2</sup> (98.44T)
建築高さ	: 11.5m
階数	: 1階

■駐車場棟

建築面積	: 680.40m <sup>2</sup> (205.82T)
延べ面積	: 2,381.40m <sup>2</sup> (720.37T)
建築高さ	: 13m
階数	: 4層 (片側3層)

地区の情景にあらたな演出、歴史建築との調和、周辺施設とのシークエンスの創り

近世・近代・現代に渡る建築物と港街並形成の歴史を受け繋ぐ。



近世・開港から明治大正まで、赤煉瓦倉庫やクウイン・アン様式のジャック棟等に見られる赤煉瓦を用いた歴史期建築  
 近代・震災復興の流れに沿って建設されたニューグランド、クィーン棟等を代表とする昭和モダンな近代建築群  
 現代・戦後復興をえて未来に向けて発信された『みなと未来計画』に基づく現代建築群と3代の建築と街並の歴史を受け継ぎ  
 地区の新たなシンボルとして長く親しまれる施設の構築をいたします。

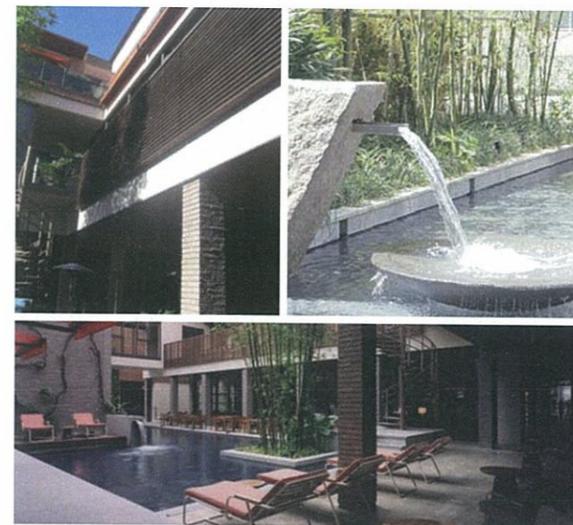
## MODERN ORIENTAL YOKOHAMA

港町・モダンリゾート × 横浜・スタイリッシュ

赤レンガ倉庫がいつまでもこの地区の象徴であり続けるべく、低層部はレンガ色を中心とし、上層部はトーンを上げた色調とし、調和のとれたデザインとします。  
 「温故知新」「オリエンタル」をキーワードに、西洋と東洋、伝統とモダンを交錯させ、歴史への憧憬を考慮したデザインとします。



建物は、みなとみらい地区の象徴、赤レンガ倉庫と連携し煉瓦色を中心としながら、上層階は明るく低層階は落ち着いた色調を施します。



東洋と西洋をモダンに融合させ、施設全体をナチュラルな素材で構成しリゾート感とモダンなシーンを演出致します。



過度な装飾美に落ち入らずシンプルでありながらも、ムードを維持したコンテンポラリーな居室をデザインし、飽きのこない空間感を加味します。

## 人の流れをつなぐ地区間の結節点

新港地区は新しい市街地である みなとみらい 21 中央地区と開港以来の旧市街地である関内・山下地区の中間に位置します。  
当施設は、新旧市街地の両地区を結び、人の流れを作り出す結節点となるよう、にぎわいと楽しさを創出させます。



## 近代港湾発祥の地としての歴史性

歴史的シンボルである赤レンガ倉庫と調和するように、低層部をレンガ調タイルとします。高層部は街並みにおける建築物の圧迫感を低減するために一部とし、また、トーンを落とした色調とします。  
「温故知新」「オリエンタル」をキーワードに、西洋と東洋、伝統とモダンを交錯させ、歴史への憧憬を考慮したデザインとします。

## ”島”としての個性

建築物の高層部を一部にすることにより、海への眺望の配慮します。  
当敷地中央部のパサージュによる海への視界の抜けを考慮します。  
シークエンス景観の軸である臨港幹線側の考慮したデザイン及び連続性を保持し、「島」としてまとまりのある街並みとします。

## 賑わいのあるみなとまち

沿道に開放的なスイーツ・カフェやレストランによりにぎわいを感じさせ、緑地や水景を中心に魅力ある施設にします。  
また、当該敷地中央部にパサージュを設けることで、多様な利用者が臨港幹線道路と新港パークとの行き来できることでにぎわいのある施設とします。

## 街の“楽しさ”を実現する

敷地内中央部にパサージュを設けることにより、臨港幹線道路と新港パークとの行き来が可能となり人の流れを引き込みにぎわいを創出します。

## 街の“優しさ”を実現する

当該敷地は臨港幹線と港湾3号線に挟まれた場所に位置します。  
臨港幹線道路と当該敷地には高低差があり、隣接する建物と連動をとり、新たな導線を敷地内に確保し基本的に段差の無い外構計画とします。  
一部の高低差は緩やかなスロープを設け、人に優しい街づくりに貢献いたします。

## 街の“美しさ”を実現する

受け継がれた街並み景観に配慮したレンガ調タイルを使用し、歴史と風格を感じさせるデザインとします。  
また、臨港幹線側と港湾3号線側にセミパブリック空間を設け、魅力あふれる街並みを演出します。

海に向かってゆとりを持ち、連続性が感じられる街並み

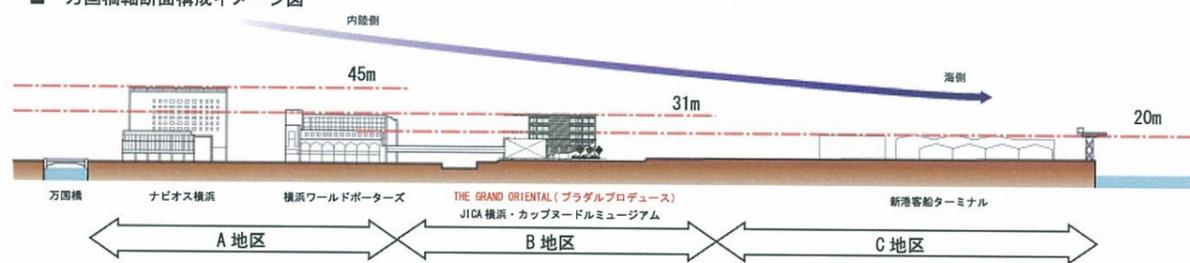
1. 建物の高さに関する事項  
11. 道路及び緑地に対する事項

■高層となる建築物を一部とし、敷地中央のパサージュによる視界の抜けにより赤レンガ倉庫や海への眺望に配慮した計画とします。

- ・当該建物 本館中高層棟 15m～30.9m  
音楽堂低層棟 11.5m
- ・ワールドホーターズ 31m
- ・JICA 横浜 31m
- ・アゲイザン販売 20m(予定)
- ・カップヌードルミュージアム 26m



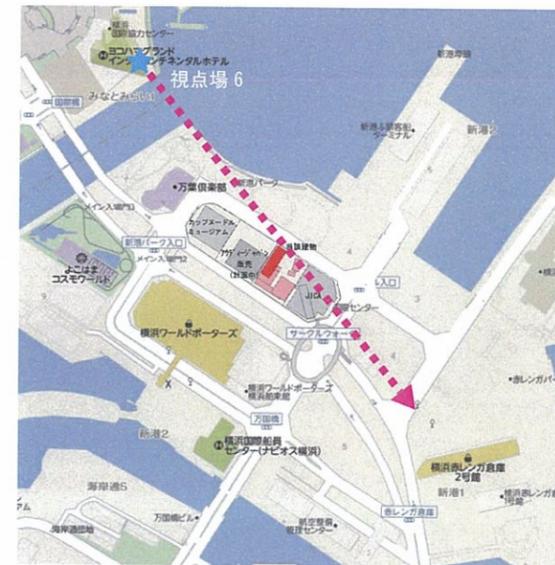
■万国橋軸断面構成イメージ図



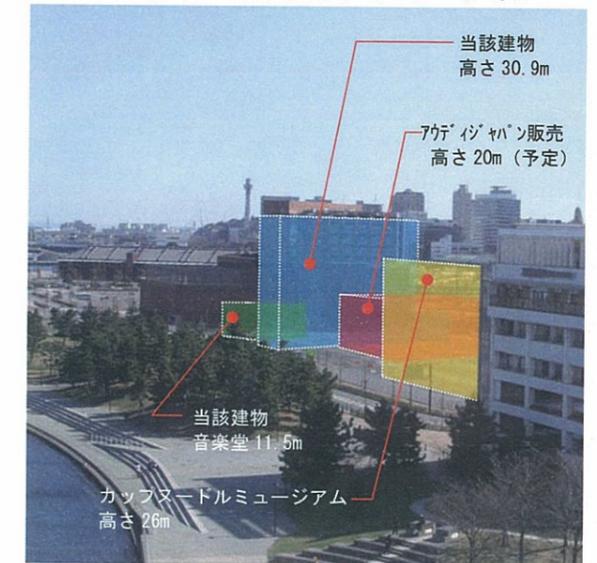
歴史的シンボルとしての赤レンガ倉庫への見通し景観

2. 見通し景観の確保に関する事項  
11. 道路及び緑地に対する事項

■高層となる建築物を本敷地西側とし敷地境界から建物をセットバックすることにより、「視点場 6」からの赤レンガ倉庫への眺望を損ねないよう考慮します。



「視点場 6」から見通しシミュレーション



開放的で居心地のよい水域・水際の風景

11. 道路及び緑地に対する事項

■道路に接する面に垣やさくは設けず、連続した植栽計画により、開放性（快適空間）にぎわい回遊を創出します。施設出入口に関しては、管理上必要最小限な透過性が高く落ち着いた色彩の門扉を設け、街並み景観に配慮した風格ある形態意匠とします。



歴史性を意識し、高さを抑えたまとまりのある街並み景観

1. 建物高さに関する事項 5. 建物等のデザインに関する事項  
6. 色彩に関する事項 7. 屋外広告物に関する事項  
10. 夜間景観の演出に関する事項

- 高層となる建築物を一部とし、敷地中央のパサージュによる視界の抜けにより赤レンガ倉庫や海への眺望に配慮した計画とします。
- 建物の上層部と下層部、左右で意匠を変化させる事により長大壁面になる事無く圧迫感のない分節化を行います。
- 赤レンガ倉庫がいつまでもこの地区の象徴であり続けるべく 建物低層部をレンガ色中心とし上層部はトーンを落とした色調とした調和のとれたデザインとします。また「温故知新」「オリエンタル」をキーワードに、西洋と東洋伝統とモダンを交錯させ歴史への憧憬を考慮したデザインとします。
- 赤レンガ倉庫のライトアップと調和を図り、外壁を床面よりライトアップします。外構にも照明を設置し、夜間の安全性とにぎわいの演出を計ります。また、1階部分のショップをガラス張りとし、建物内部より照明が外部に漏れるような魅力ある設えとします。
- 建物頭頂部にライトアップを行い、夜間でも建物全体のスケールを浮かび上がらせる演出とします。(色温度は全て 3000 ケルビン程度)



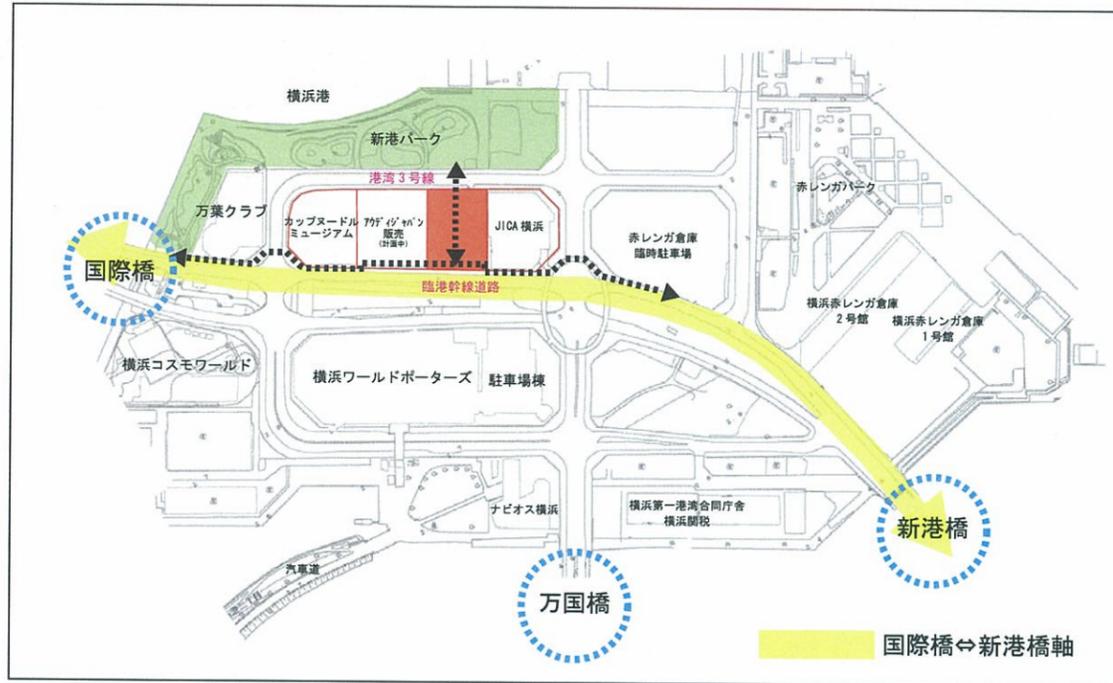
### 歴史やみなとらしさを活かしたシーケンス景観

- 1. 建物高さに関する事項
- 2. 見通し景観の確保に関する事項
- 4. 街並み形成に関する事項
- 5. 建物等のデザインに関する事項
- 11. 道路及び緑地に関する事項

■国際橋 ⇄ 新港橋まで臨港幹線道路に面したシーケンス軸。

隣接する建物（オーディジャパン販売）と建物位置を6mセットバックにあわせることにより敷地内に新たな歩道を確保します。隣接建物（オーディジャパン販売）から当該建物まで約100mの新たなセミパブリック空間により人の導線を活発化することにより賑わいを創出する。

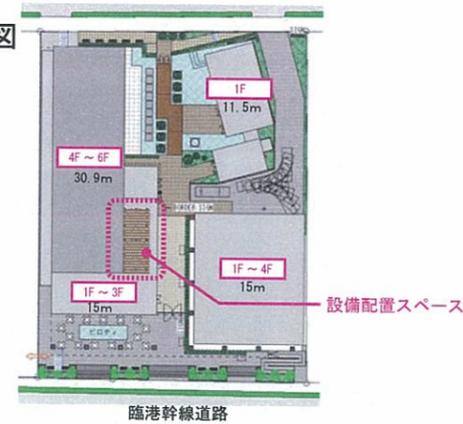
■当該敷地中央部のパサージュを抜ける事により臨港幹線道路と新港パークとの行き来が可能となり新たな人の導線が生まれる。



### 周辺地区からの見下ろし景観を意識

- 7. 屋外広告物に関する事項
- 9. 屋根・屋上に関する事項

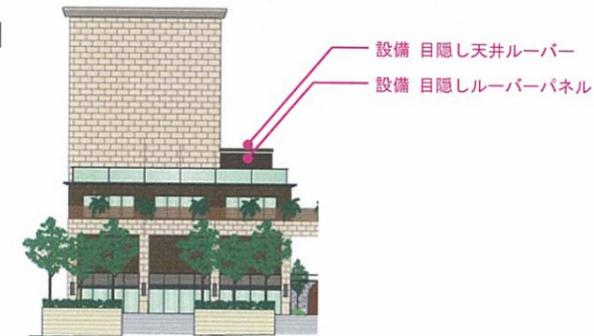
#### 配置図



天井 目隠しルーバー（パーゴラ）イメージ



#### 立面図

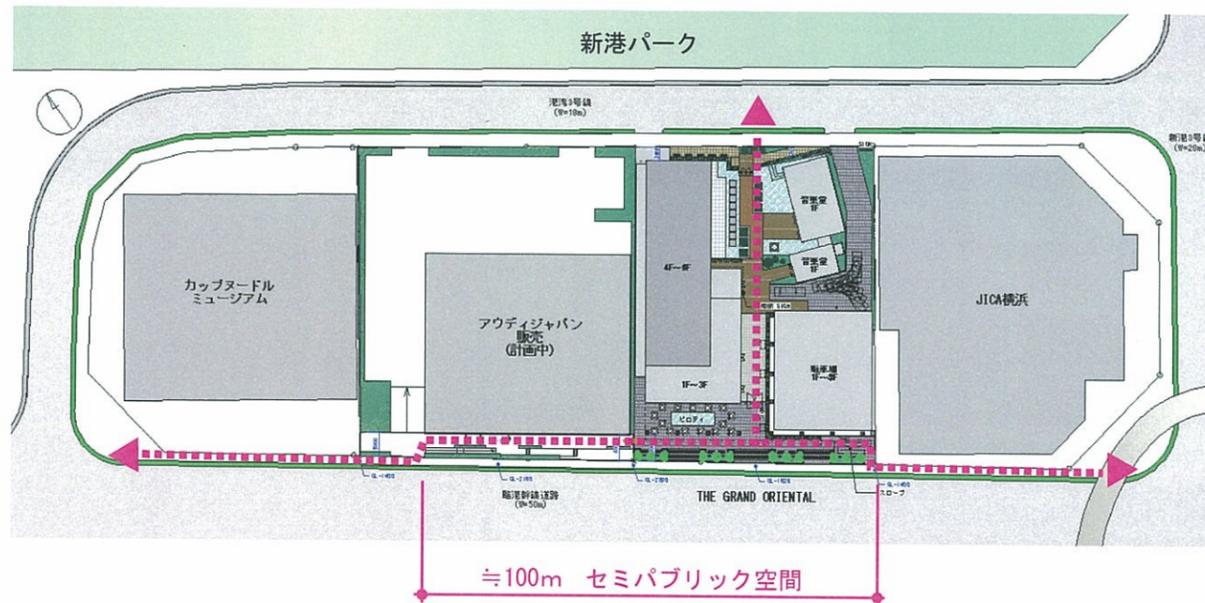


壁面 目隠しルーバーパネルイメージ



### 環境への取り組み

まちづくりへの配慮



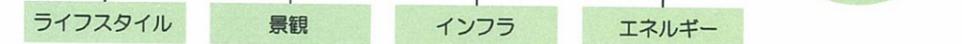
### 一地球温暖化策一

(横浜市脱温暖化行動針)  
(横浜市脱温暖化行動方針ロードマップ)

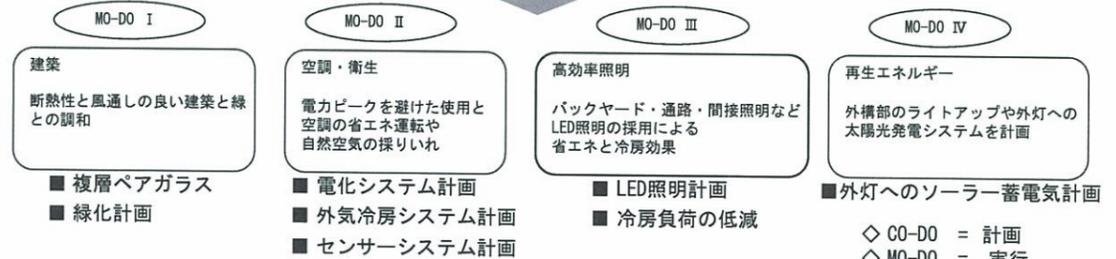
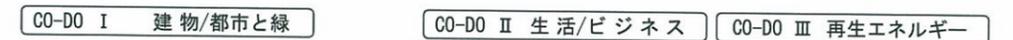
#### 〜環境配慮型施設の実現とCO2排出による地球貢献〜

継続可能な市民生活を実現するための  
省エネ・ライフサイクルによるCO2の抑制

#### 脱温暖化の実現



CO2排出  
削減量  
約160ton/年  
従来手法によるCO2  
排出量は、755ton/年  
対策では、595ton/年

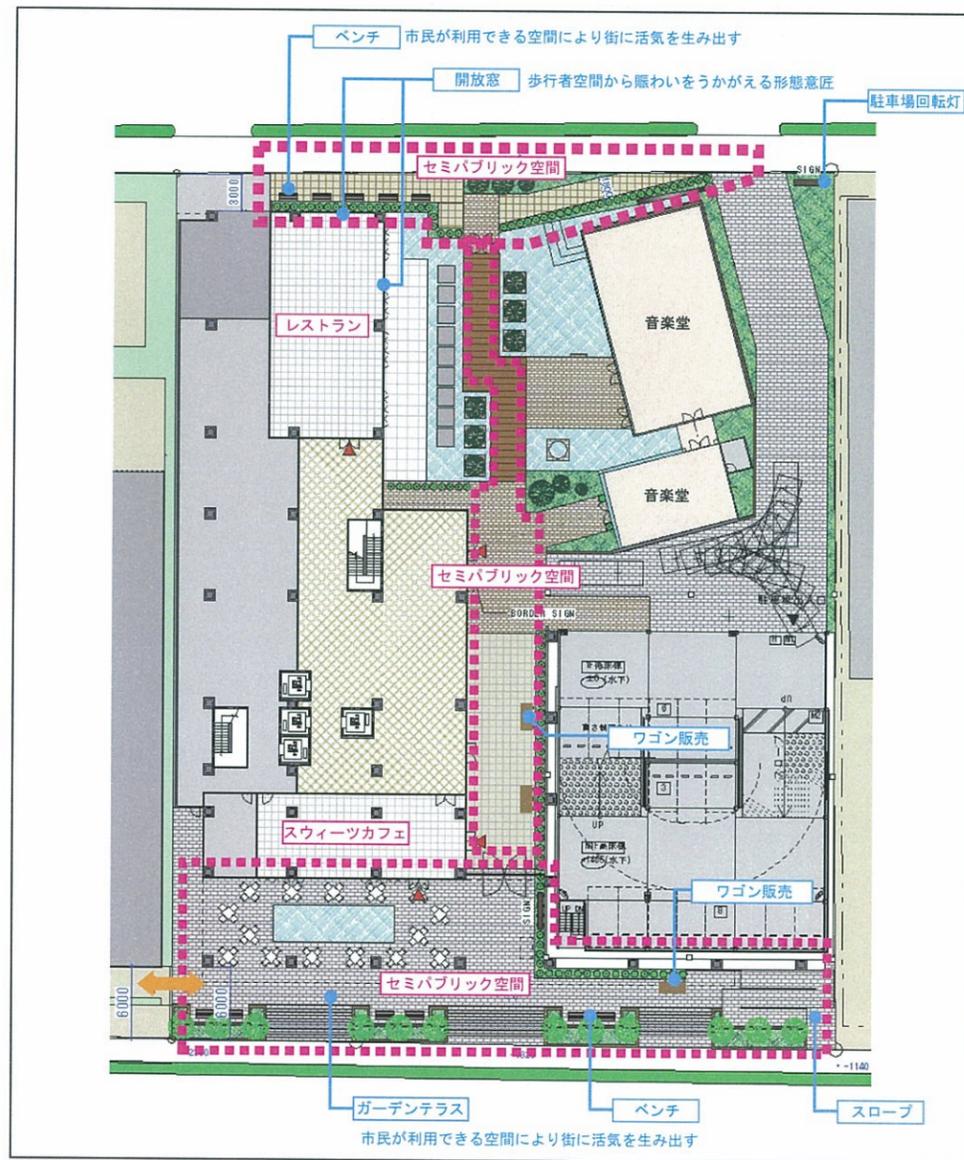


◇ CO-DO = 計画  
◇ MO-DO = 実行  
MO-DO II 空調・衛生

歩いて楽しく、賑わいのある街並み

4. 街並み形成に関する事項 7. 屋外広告物に関する事項  
9. 駐車場・駐輪施設に関する事項 10. 夜間景観の演出に関する事項

- 臨港幹線道路にスイーツ・カフェを設置し新港パーク側にレストランを設置。壁はサッシュで開放され歩行者から中の賑わいをうかがえる形態意匠とします。
- 建物をセットバックし、ガーデンテラスや催事等のワゴンショップにより、活気ある賑わい空間を創出します。
- 歩道に接する私道部分にベンチ等配置し、セミパブリック空間の確保を行います。
- 敷地内駐車場は建物のデザインを連続させ、木目調ルーバー及び壁面緑化により車輛が見えない設えとします。
- 新港パーク側から約35m強セットバックさせ、海からの眺望の確保を行います。
- 建物全体に加え、駐車場にもユニバーサルデザインを取り入れ、すべての来客者が安心して利用出来るよう配慮します。
- 進入の際、関連業者の搬入導線、客車輻導線、歩行者の導線、すべての出入口を分けて、安全性を確保します。
- 駐車場入口には、両脇に緑地帯を設け、歩行者導線の連続性を阻害しないようにします。
- 臨港幹線道路側からの車輛進入は無く、すべての車輛は港湾3号線からの出入りとし、街並みの連続性を阻害しないようにします。

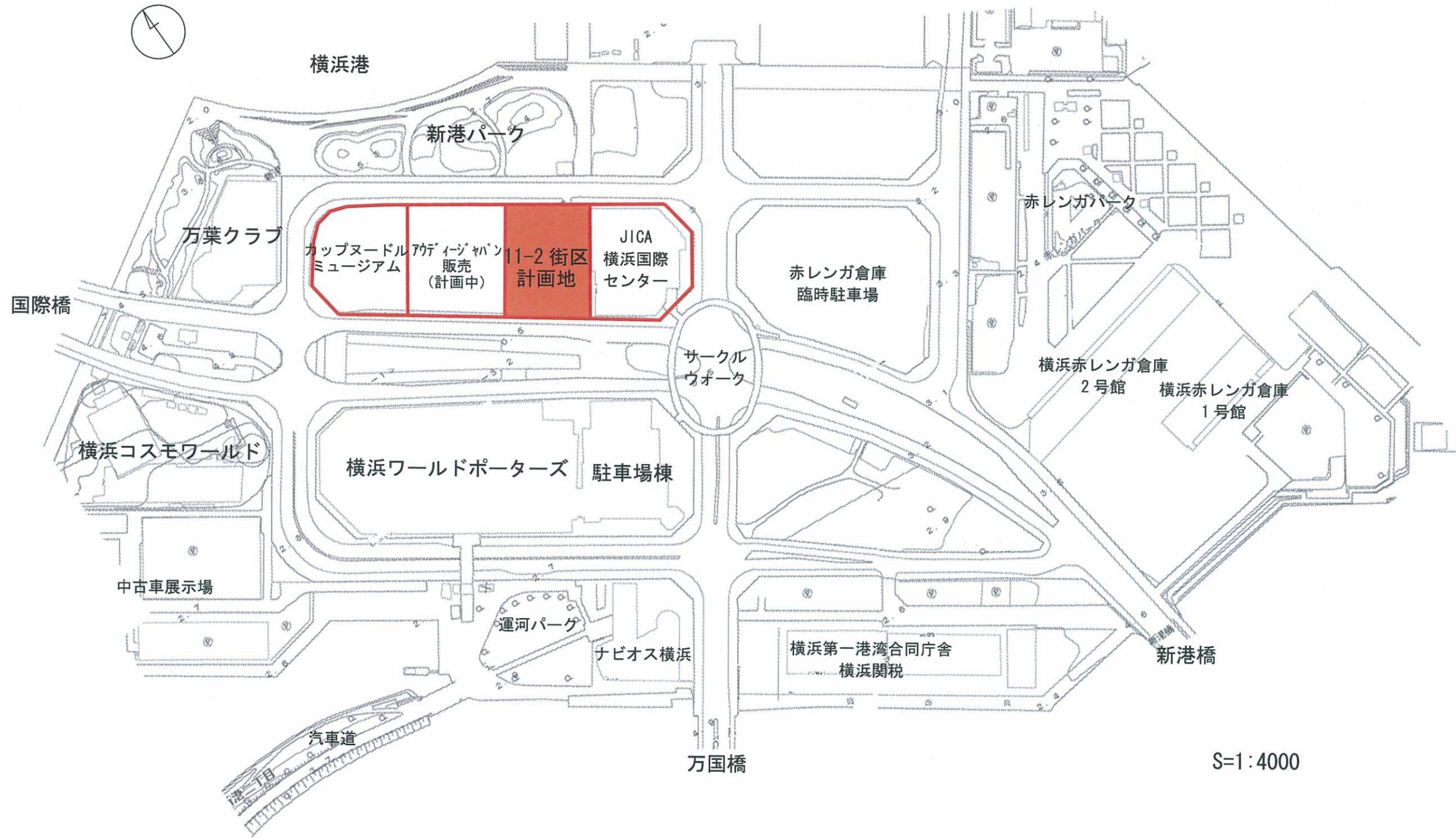


臨港幹線道路側 建物外観パース（昼景）



臨港幹線道路側 建物外観パース（夜景）





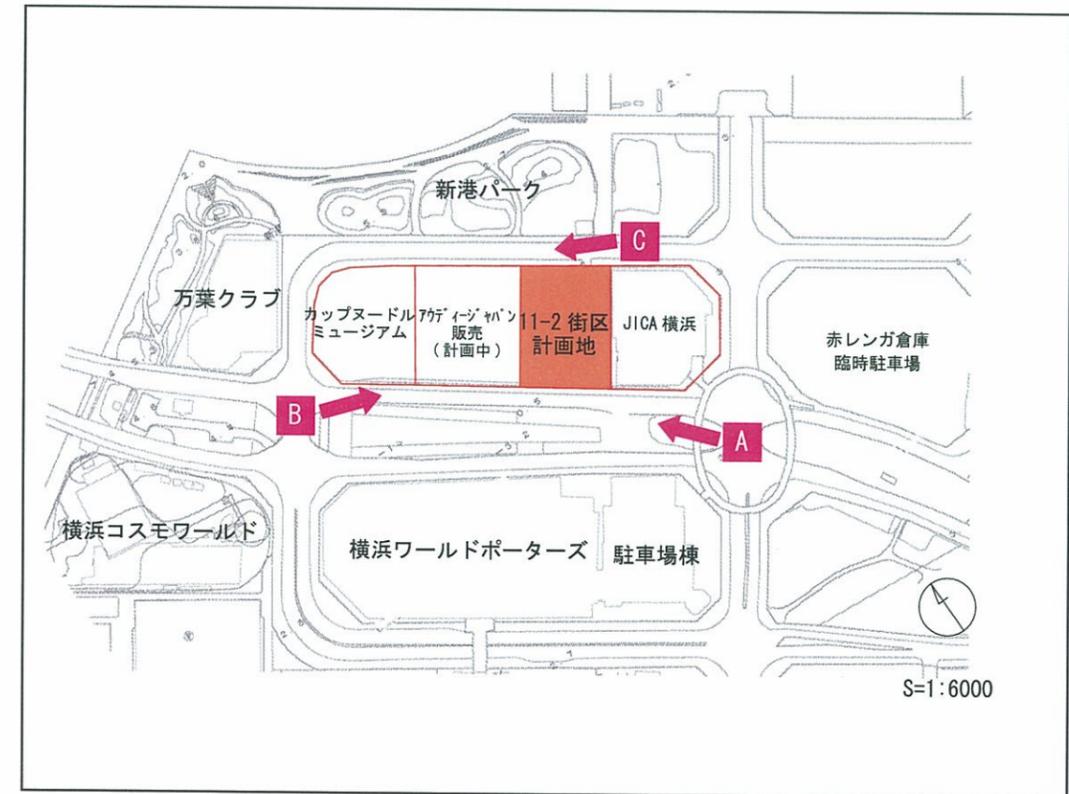
A サークルウォークより

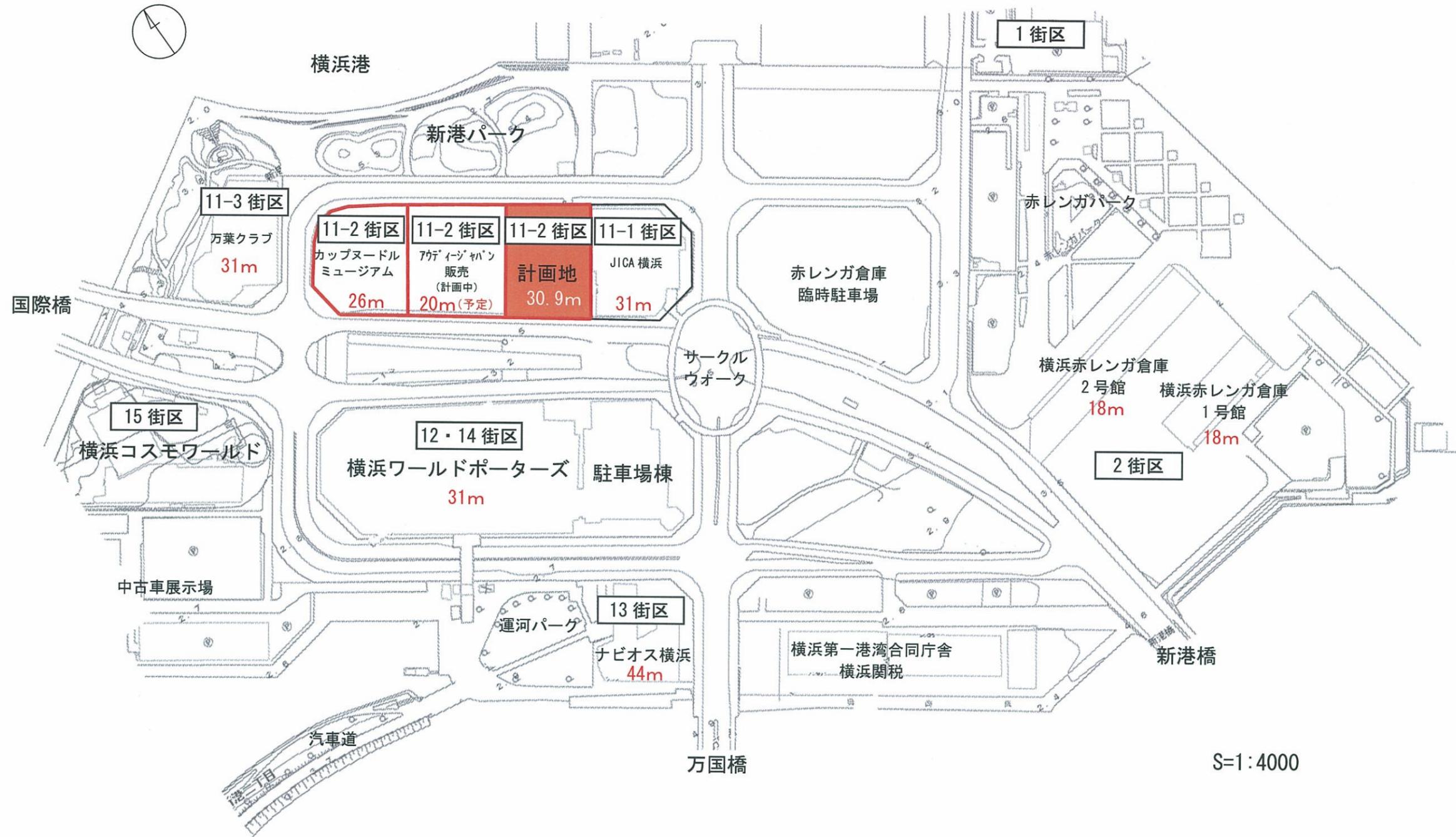


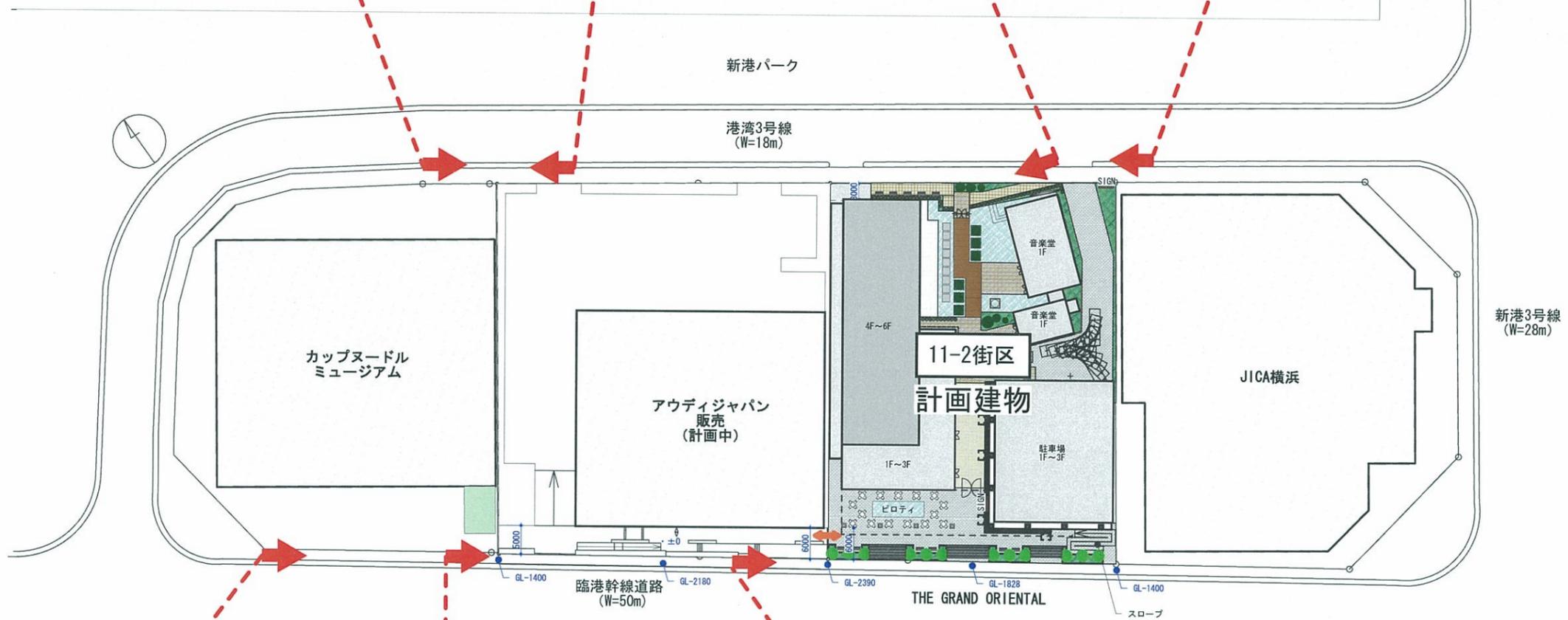
B カップヌードルミュージアムより



C JICA横浜より

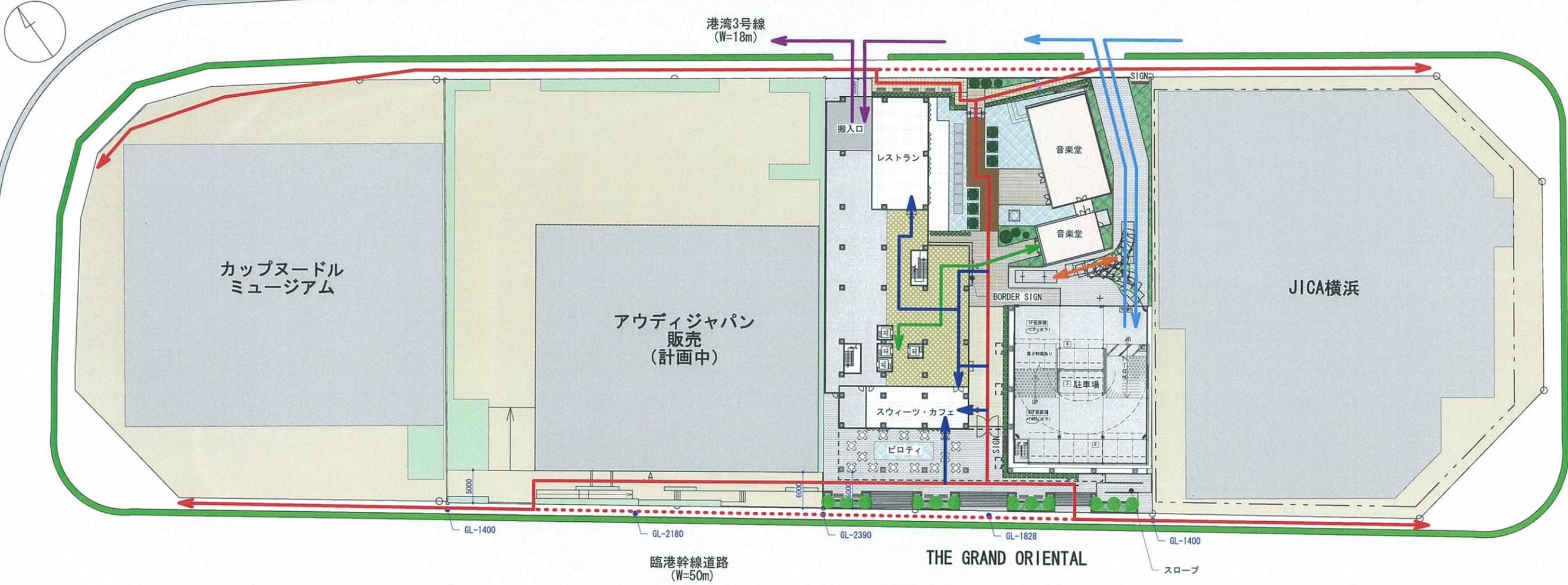


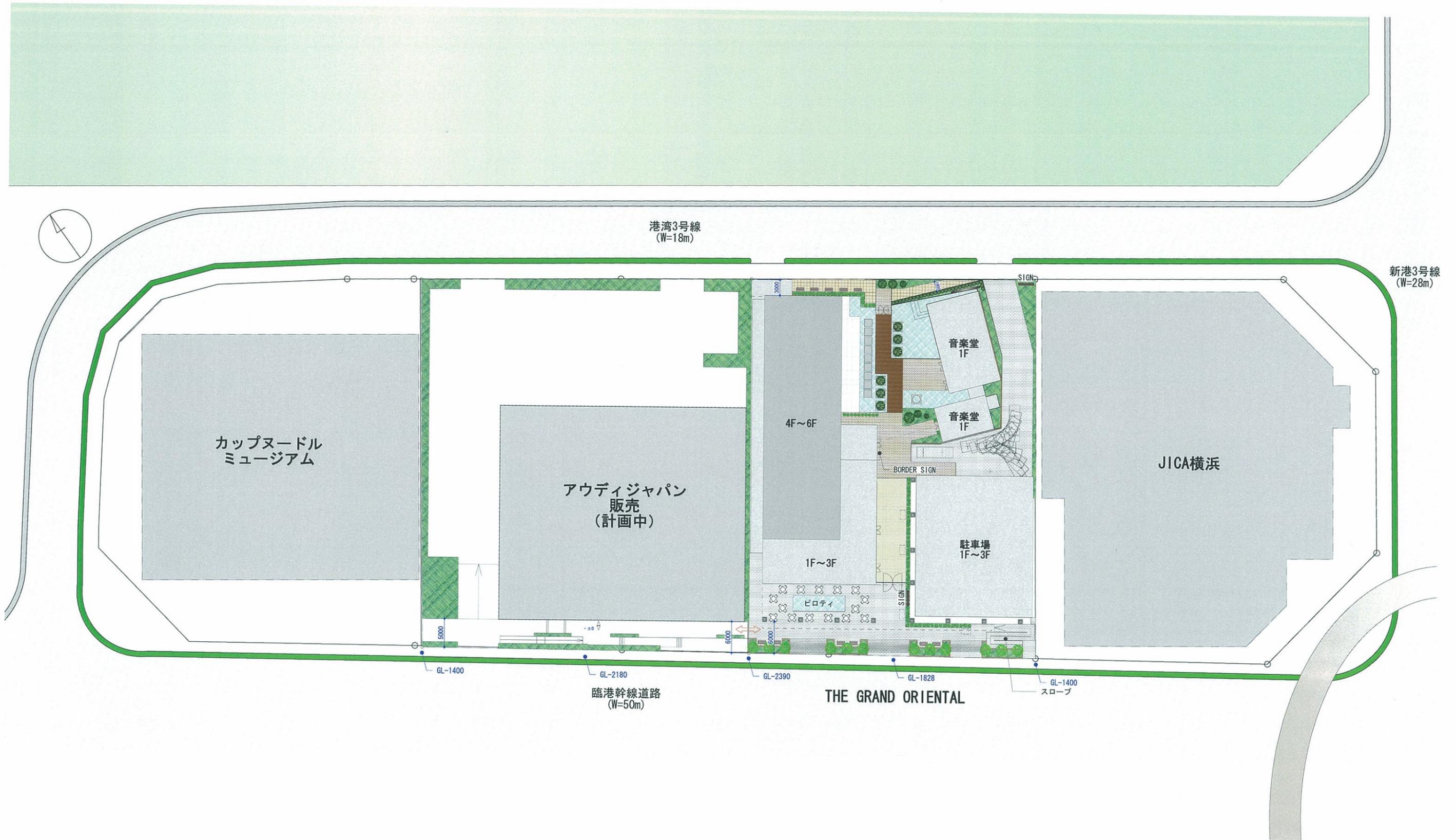




- 主たる導線を、敷地北側港湾3号線からの出入りとしします。
- 導線の交差による混乱を避けるため、「物流用車輛」と「利用者用車輛」を分けます。
- メインタイムに誘導人員を配置します。

お客様・一般客導線	車両導線
ブライダル客導線	一般車両導線
テナント客導線	送迎バス導線
一般客導線	搬入車両導線





1階

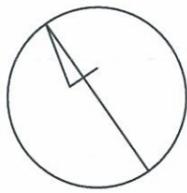
港湾3号線  
(W=18m)

JICA横浜

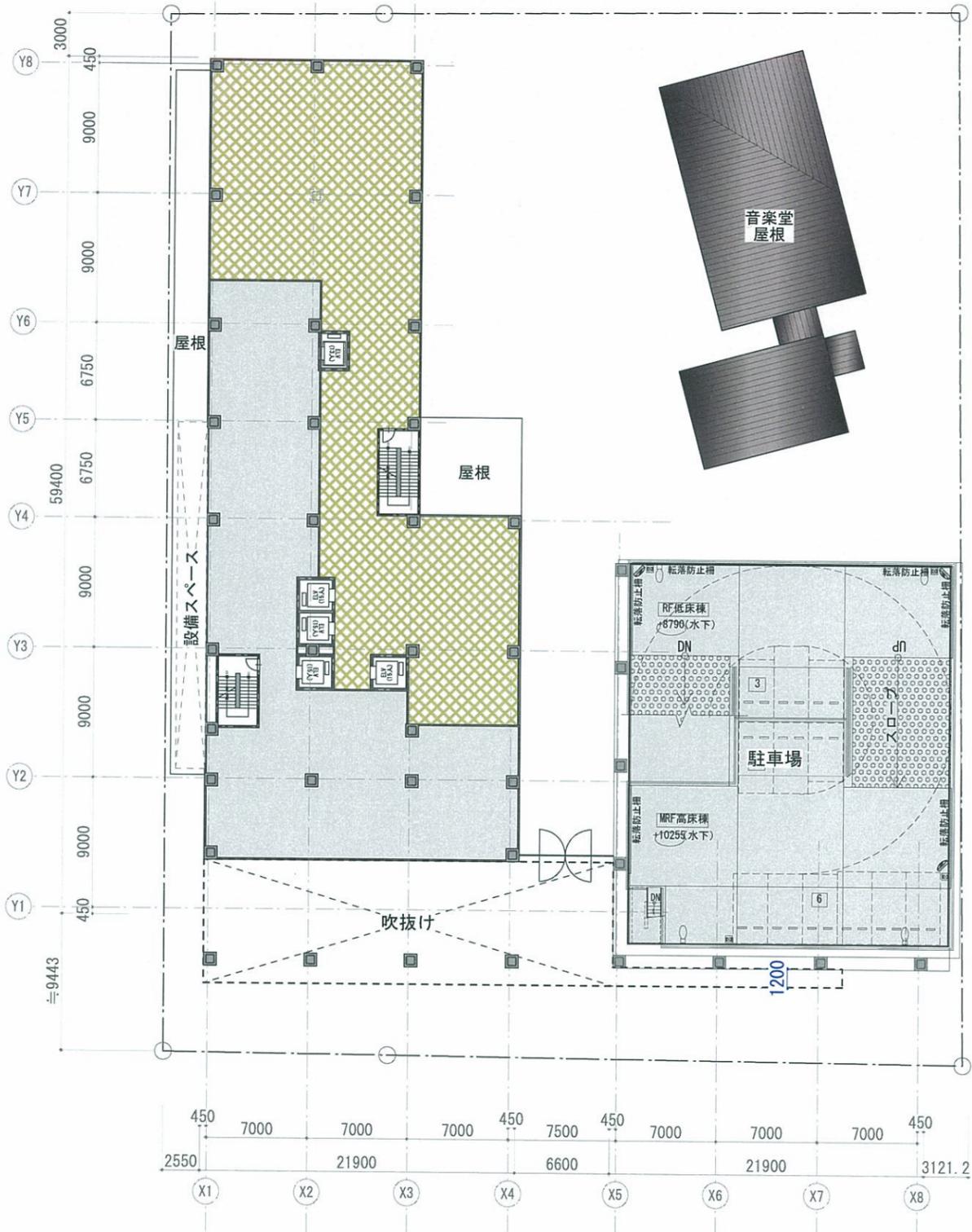
オーディオジャパン  
販売 (計画中)

臨港幹線道路

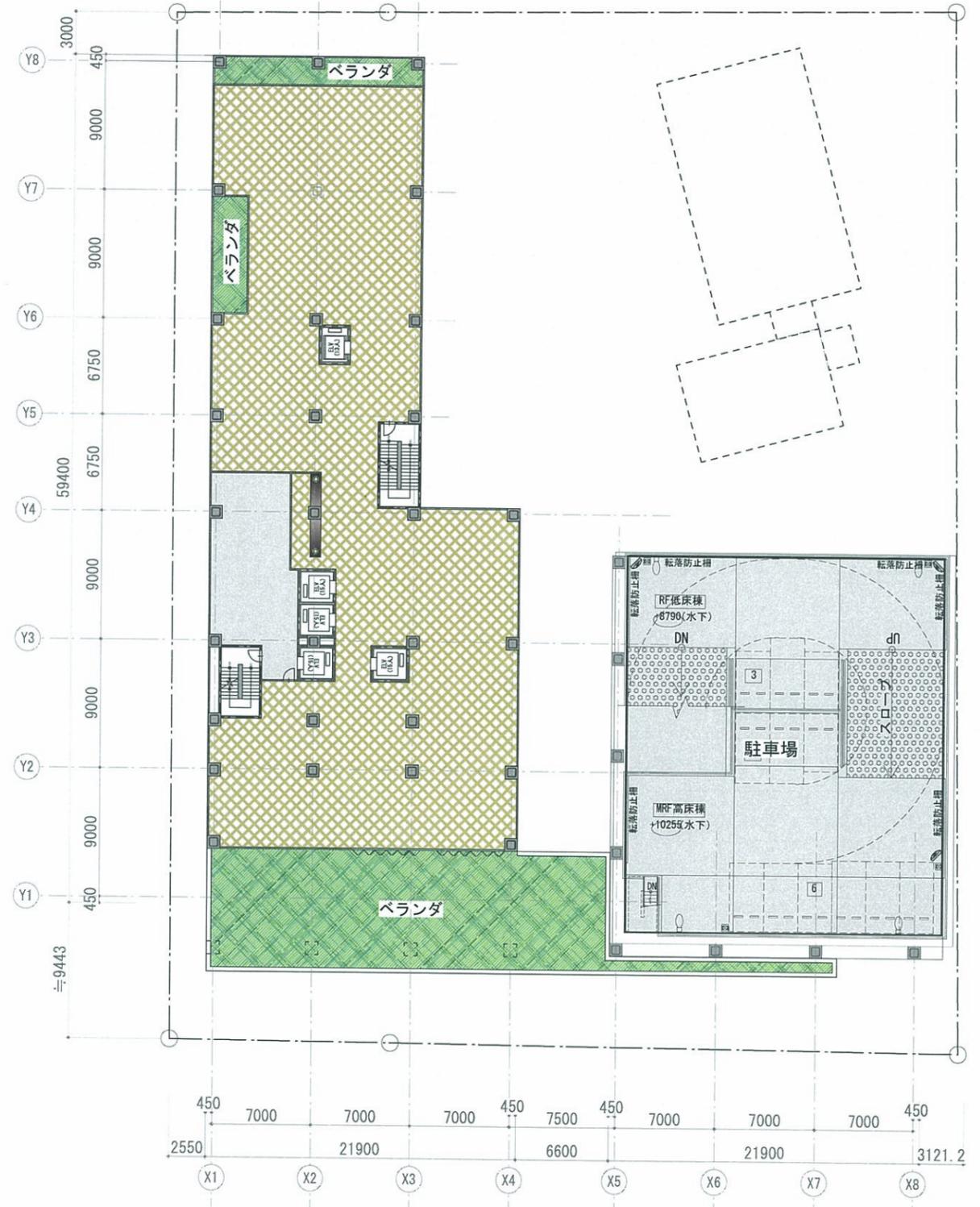




2階



3階



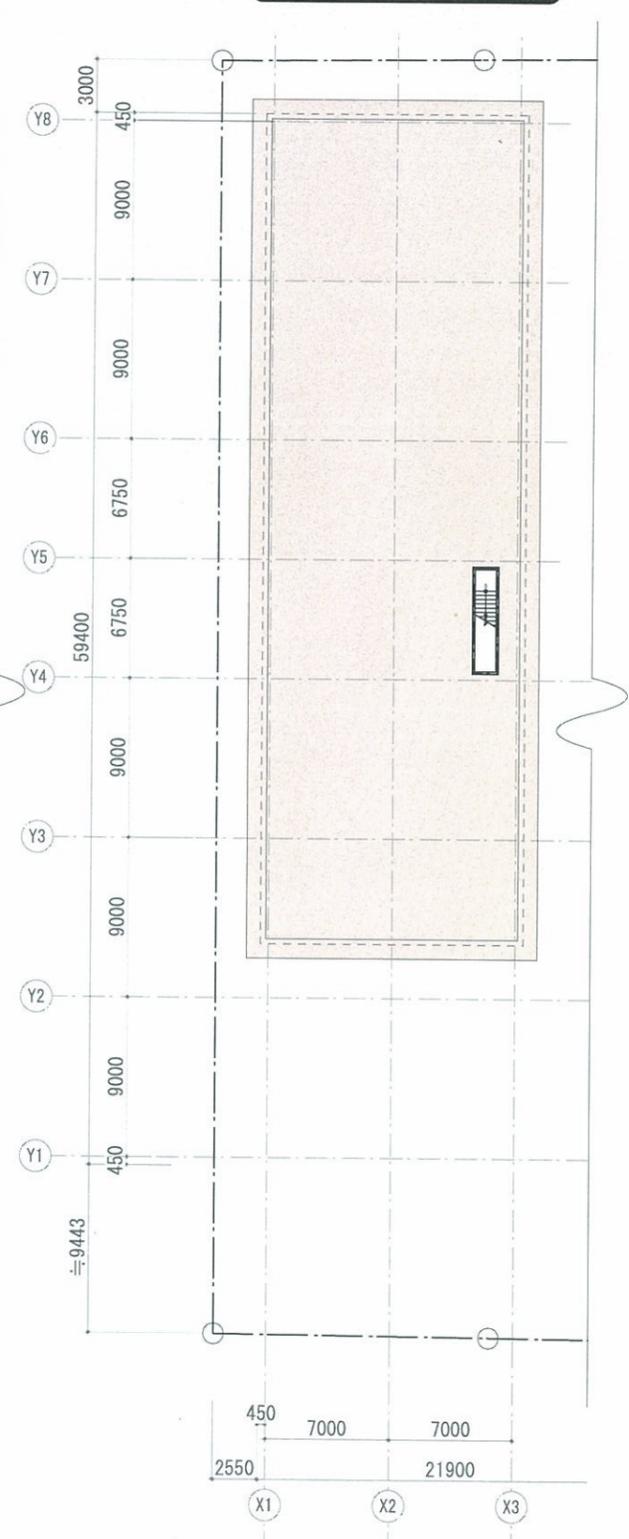
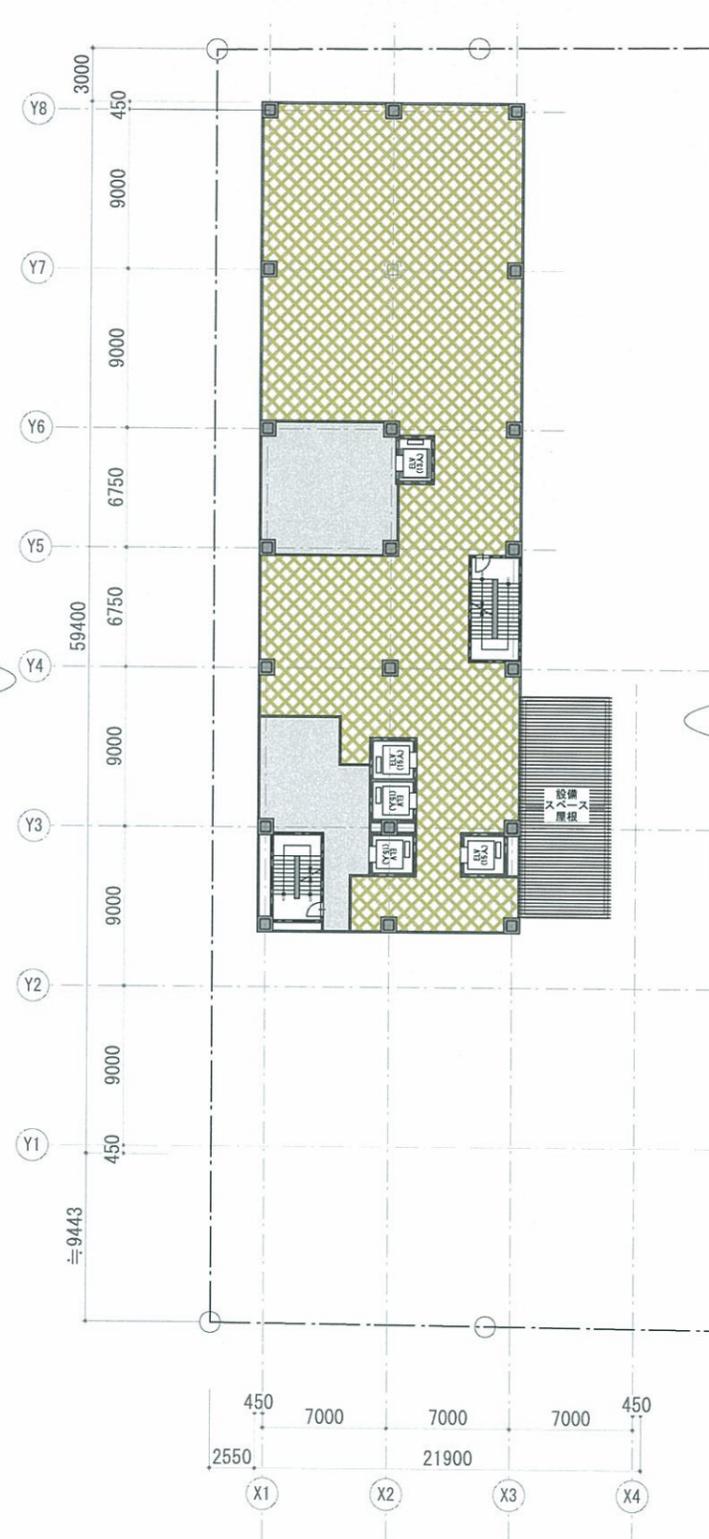
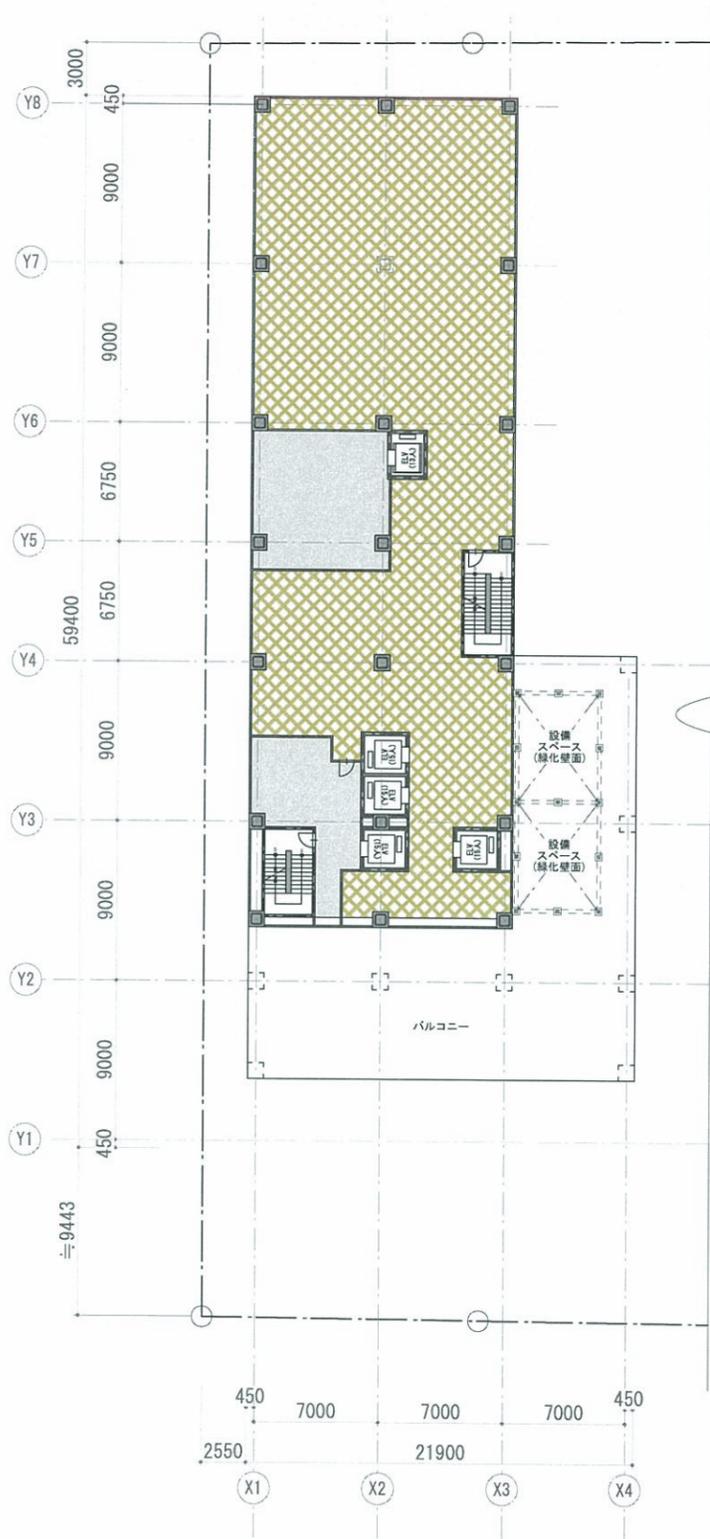


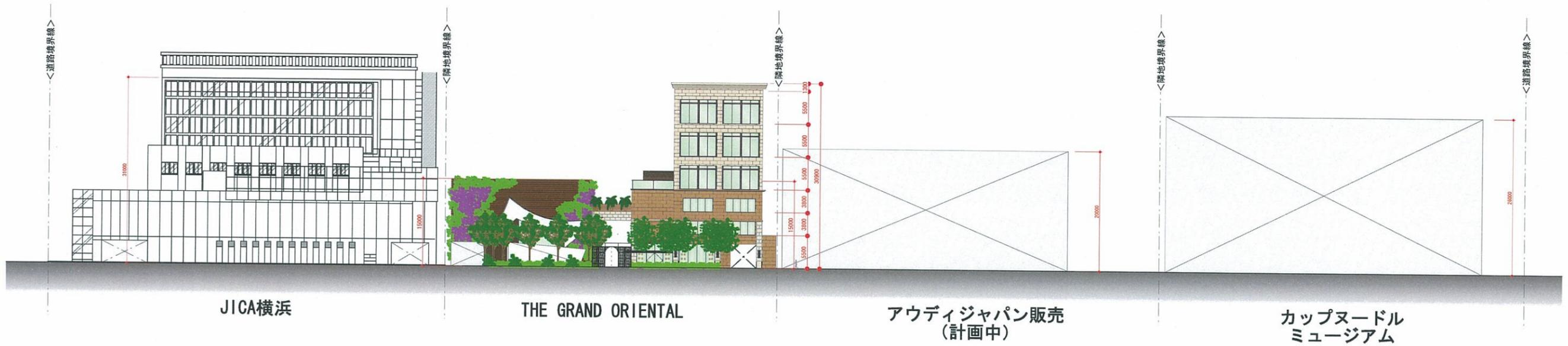
4階

5階

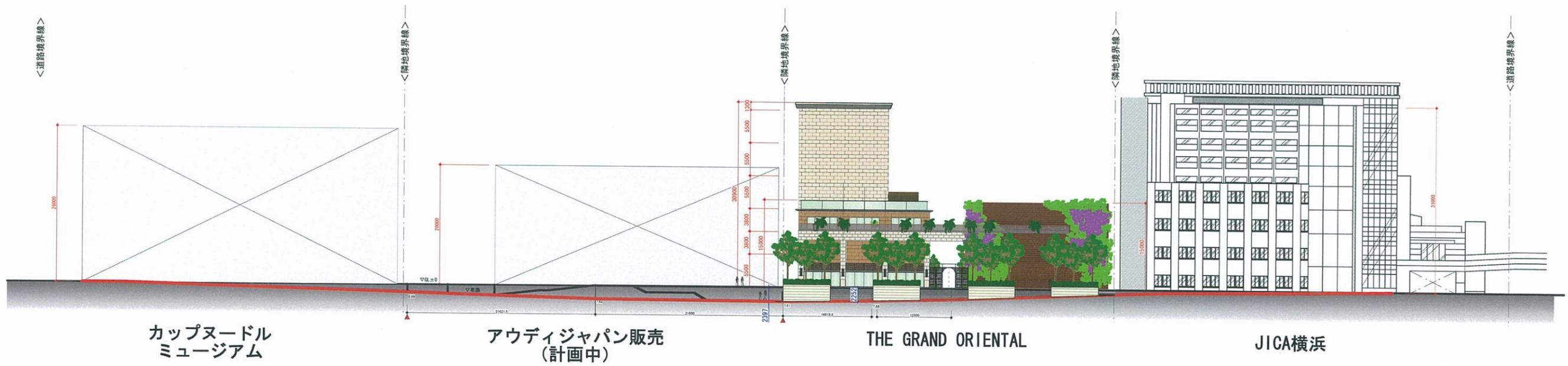
6階

R階





港湾3号線側



臨港幹線側

北東側



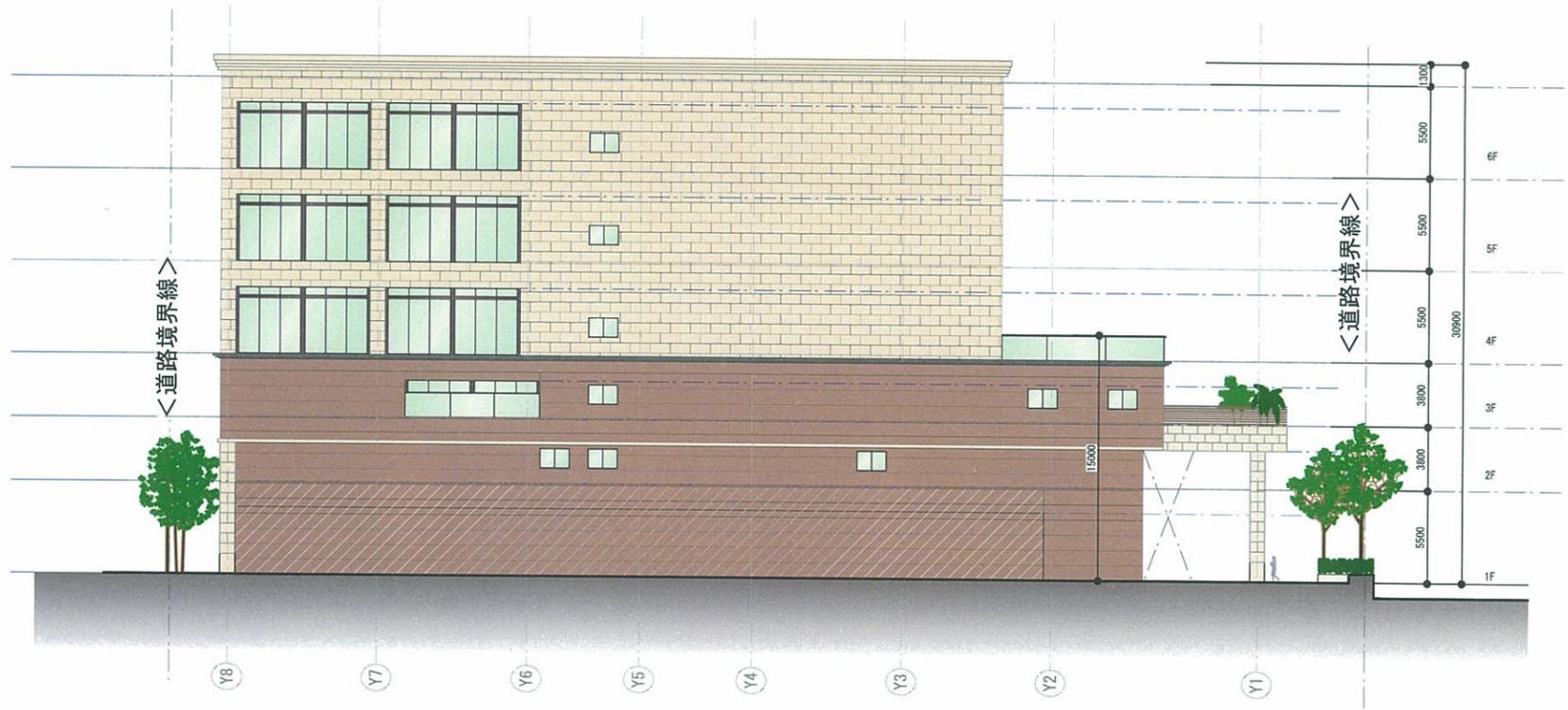
南西側



南東側



北西側







PERSPECTIVE  
鳥瞰パース（夜景）







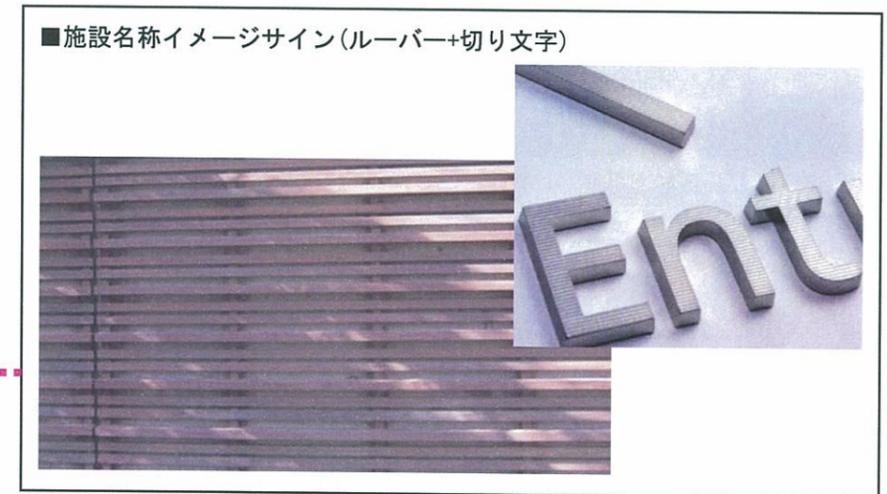
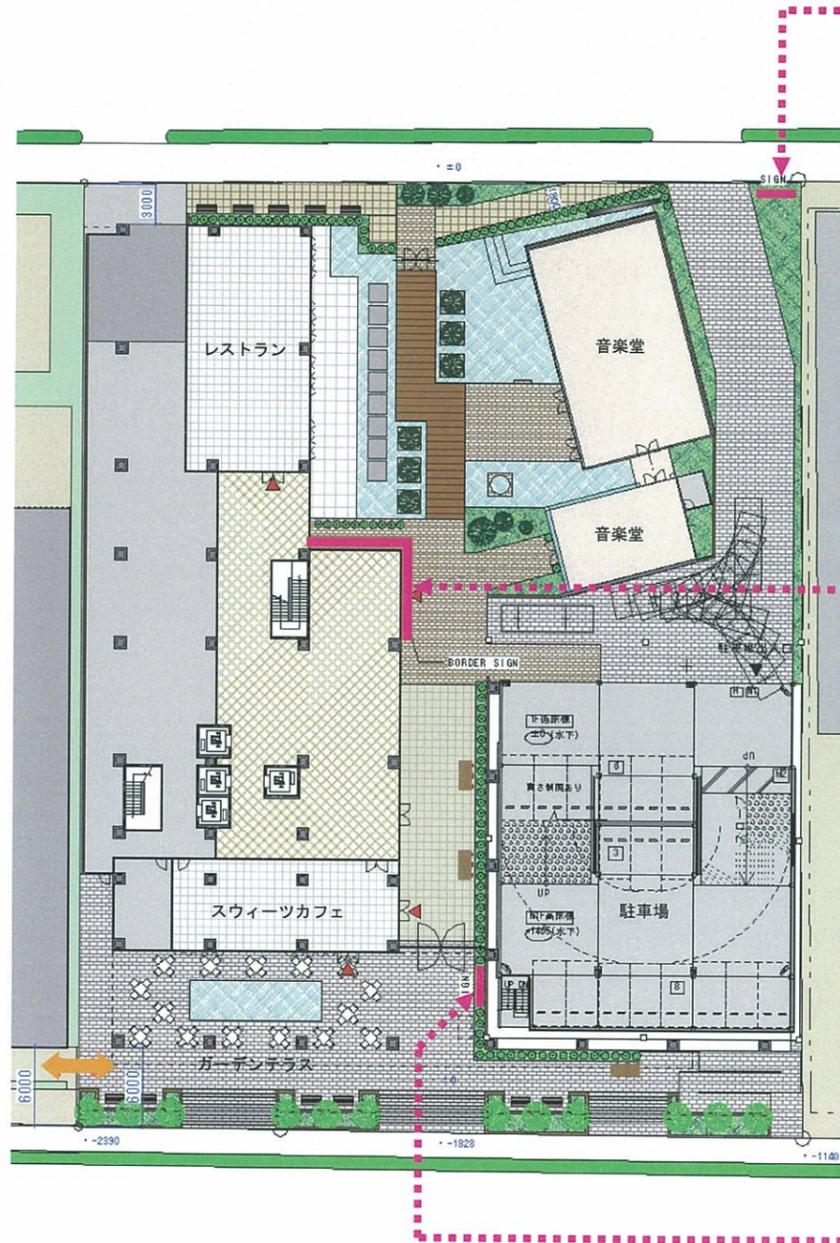


オーディジャパン販売 建物（表記有）

オーディジャパン販売 建物（表記無）



■低層部に設置するサインは施設名称及び駐車場誘導サイン等、  
 アイレベルでの計画とし且つシンプルで気品のあるデザインとして計画します。  
 夜間の景観にも考慮し夜間は内照式サイン計画とします。



## 欠席委員意見

加藤委員	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 街並み形成に関する事項として、沿道景観を形成するためにチャペル棟の前面の空間をもう少し確保（セットバック）した方がいい。</li><li>2. 建築物のデザインに関する事項として、駐車場棟はチャペル棟より低く抑えチャペル棟を際立たせた計画にした方がいい。また、臨港幹線道路側の高層棟外壁は単調な形態意匠を避け、デザインの工夫をした方がいい。</li><li>3. 色彩に関する事項として、樹木とのバランスを配慮した上で、全体が軽い感じの色調にした方がいい。</li></ol>
------	---